



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月7日

上場取引所 東

上場会社名 日本コークス工業株式会社
 コード番号 3315 URL <http://www.n-coke.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役人事・総務部長
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 西尾 仁見
 (氏名) 鍛冶屋 和博

TEL 03-5560-1311

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	48,454	△9.7	2,588	△29.0	2,026	△37.3	1,209	△36.3
26年3月期第2四半期	53,646	△4.0	3,646	59.2	3,232	79.3	1,899	90.3

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 1,297百万円 (△33.0%) 26年3月期第2四半期 1,938百万円 (104.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	4.01	—
26年3月期第2四半期	6.30	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	113,080	42,677	37.6
26年3月期	115,263	42,262	36.6

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 42,564百万円 26年3月期 42,152百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	103,000	△5.5	5,800	△19.9	4,700	△23.8	2,300	△24.1	7.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期2Q	302,349,449 株	26年3月期	302,349,449 株
27年3月期2Q	627,945 株	26年3月期	626,707 株
27年3月期2Q	301,722,360 株	26年3月期2Q	301,727,337 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、景気は緩やかな回復基調が続きましたが、企業収益や設備投資には弱い動きも見られ、海外景気の下振れリスクが依然として存在する状況で推移しました。

このような状況のもと、当社グループの業績は、主力のコークス事業において、原料炭価格の下落等の影響を受けて販売価格が下落したことなどにより、当第2四半期連結累計期間の連結売上高は、前年同期比51億9千1百万円減少の484億5千4百万円となりました。

また、利益面では、原料コスト削減のために低品位原料炭の使用拡大などに取り組んだものの、割高な原料炭在庫の使用影響などにより、連結営業利益は、前年同期比10億5千8百万円減少の25億8千8百万円、連結経常利益は、前年同期比12億5百万円減少の20億2千6百万円となりました。

なお、四半期純利益は、前述の理由のほか、法人税等の影響により、前年同期比6億9千万円減少の12億9百万円となりました。

(セグメントの概況)

コークス事業につきましては、前述の理由などにより、売上高は、前年同期比44億1百万円減少の282億2千9百万円、営業利益は、前年同期比11億3千7百万円減少の22億1千3百万円となりました。

燃料販売事業につきましては、売上高は、前年同期比2億2百万円減少の134億9千4百万円、営業利益は、前年同期比1億8百万円増加の9億1千4百万円となりました。

総合エンジニアリング事業につきましては、売上高は、前年同期比7億6千万円減少の38億7千3百万円、営業損失は、1千1百万円（前年同期は1億2千4百万円の営業利益）となりました。

その他につきましては、売上高は、前年同期比1億7千2百万円増加の28億5千7百万円、営業利益は、前年同期比6千万円増加の1億8千4百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、1,130億8千万円となり、前連結会計年度末に比べ21億8千3百万円減少となりました。増減の主なものは、商品及び製品の増加13億2千7百万円、受取手形及び売掛金の減少17億2千5百万円、機械装置及び運搬具の減少12億5千万円等であります。

当第2四半期連結会計期間末の負債は、704億3百万円となり、前連結会計年度末に比べ25億9千7百万円減少となりました。増減の主なものは、短期借入金の増加40億1千万円、支払手形及び買掛金の減少41億1千6百万円、未払法人税等の減少10億3千6百万円、長期借入金の減少7億4百万円等であります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ、利益剰余金の増加などにより、4億1千4百万円増加の426億7千7百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年8月1日に公表した平成27年3月期第1四半期決算短信において、「第2四半期の原料炭価格が決定し、かつ、コークス販売価格についても、一定の見通しを得るに至った結果、通期業績に大きな変動はない」として、平成26年5月9日に公表した連結業績予想値を修正いたしませんでした。

その後、第3四半期の原料炭価格が決定し、かつ、コークス販売価格についても、一定の見通しを得るに至り、今回も、通期業績予想を修正すべき大きな変動はない見込みであることから、前回（平成26年5月9日公表）の予想値と変更ありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)および「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文および退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更し、割引率の決定方法についても、従業員の平均残存勤務期間に基づく割引率から、退職給付の支払見込期間および支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務および勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

なお、当該会計基準等の適用が連結財務諸表に与える影響は、軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,203	3,592
受取手形及び売掛金	11,209	9,483
商品及び製品	6,993	8,321
仕掛品	630	806
原材料及び貯蔵品	9,199	8,473
その他	3,065	2,561
貸倒引当金	△17	△15
流動資産合計	34,284	33,223
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具	68,711	70,048
減価償却累計額	△43,169	△45,757
機械装置及び運搬具（純額）	25,541	24,291
土地	38,975	38,818
その他	22,570	23,300
減価償却累計額	△13,523	△13,849
その他（純額）	9,047	9,451
有形固定資産合計	73,564	72,561
無形固定資産		
その他	673	658
無形固定資産合計	673	658
投資その他の資産		
その他	6,755	6,651
貸倒引当金	△13	△13
投資その他の資産合計	6,741	6,637
固定資産合計	80,979	79,857
資産合計	115,263	113,080

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,742	12,625
短期借入金	15,064	19,075
1年内償還予定の社債	14	14
未払法人税等	1,528	491
賞与引当金	759	768
関係会社整理損失引当金	387	387
受注損失引当金	15	19
その他	6,209	5,732
流動負債合計	40,720	39,114
固定負債		
社債	72	65
長期借入金	23,207	22,502
退職給付に係る負債	4,641	4,509
役員退職慰労引当金	48	47
環境対策引当金	2,993	2,993
その他	1,317	1,170
固定負債合計	32,281	31,289
負債合計	73,001	70,403
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,000	7,000
資本剰余金	1,750	1,750
利益剰余金	33,868	34,194
自己株式	△106	△106
株主資本合計	42,511	42,837
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	37	44
繰延ヘッジ損益	△142	△152
為替換算調整勘定	115	141
退職給付に係る調整累計額	△370	△306
その他の包括利益累計額合計	△358	△273
少数株主持分	109	112
純資産合計	42,262	42,677
負債純資産合計	115,263	113,080

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	53,646	48,454
売上原価	47,060	42,913
売上総利益	6,586	5,540
販売費及び一般管理費	2,939	2,952
営業利益	3,646	2,588
営業外収益		
受取配当金	162	75
その他	160	76
営業外収益合計	323	152
営業外費用		
支払利息	366	305
その他	371	409
営業外費用合計	737	714
経常利益	3,232	2,026
特別利益		
固定資産売却益	54	49
その他	18	0
特別利益合計	72	50
特別損失		
固定資産除却損	301	225
その他	89	42
特別損失合計	391	267
税金等調整前四半期純利益	2,913	1,809
法人税、住民税及び事業税	829	352
法人税等調整額	202	245
法人税等合計	1,032	597
少数株主損益調整前四半期純利益	1,880	1,212
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△18	2
四半期純利益	1,899	1,209

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,880	1,212
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7	6
繰延ヘッジ損益	32	△10
為替換算調整勘定	16	25
退職給付に係る調整額	—	64
その他の包括利益合計	57	85
四半期包括利益	1,938	1,297
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,957	1,295
少数株主に係る四半期包括利益	△18	2

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

1. 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計額	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	コークス事業	燃料販売事業	総合エンジニアリング事業	計				
売上高								
(1)外部顧客への 売上高	32,630	13,696	4,634	50,961	2,684	53,646	—	53,646
(2)セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	585	585	161	746	△746	—
計	32,630	13,696	5,219	51,546	2,846	54,393	△746	53,646
セグメント利益	3,350	805	124	4,280	123	4,404	△757	3,646

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運輸荷役事業、不動産販売・賃貸事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△757百万円は、セグメント間取引消去9百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△766百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計額	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	コークス事業	燃料販売事業	総合エンジニアリング事業	計				
売上高								
(1)外部顧客への 売上高	28,229	13,494	3,873	45,597	2,857	48,454	—	48,454
(2)セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	579	579	132	711	△711	—
計	28,229	13,494	4,452	46,176	2,989	49,166	△711	48,454
セグメント利益又は 損失(△)	2,213	914	△11	3,115	184	3,300	△711	2,588

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運輸荷役事業、不動産販売・賃貸事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△711百万円は、セグメント間取引消去10百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△722百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。